

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
-----	--------------------------------

活動名	浜名湖プラスチックごみ問題勉強会「子ども環境ワークショップ」
-----	--------------------------------

担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
-----	-------	------	----------------

事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
------	------	--------	------

活動の目的	SDGs 目標14 海の豊かさを守ろう。海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する。
-------	---

実施内容	
活動日時	2019年11月17日(日)8:45~12:00
活動場所	浜松市庄内協働センター、舘山寺サンビーチ
活動者名	高根美保
詳細	浜名湖のごみ現地調査(拾って、調べる) 海洋プラスチックの現状、最近の取り組み(学ぶ) 浜名湖のプラスチックごみ対策の話し合い(考える)

事業の成果	<p>参加人数 33名(大人 18名、子ども 15名)</p> <p><行動></p> <ul style="list-style-type: none"> 舘山寺サンビーチでゴミ拾いを行い、拾ったゴミを種類ごとに分けて集計を行った。 ゴミを拾う際には、大きなゴミだけでなく、流木等の下にある小さいプラスチックのかけらも拾った。 家族単位で拾うことで、会話が生まれ「何故?このゴミがここにあるのか?」を考えながら拾うことが出来た。 <p><学ぶ></p> <ul style="list-style-type: none"> 拾ったゴミを種類別に分けて集計した結果を確認した。 現在の「海ごみ」の状況及び海洋生物に与えている影響を説明された。 <p><考える></p> <ul style="list-style-type: none"> 3グループに分かれて「海ごみ」問題を解決する方法を考えた。 担当 Cグループ 子ども 6名(小学生低学年と小6)「ペットボトルのゴミについて」 最終目標 「①きれいな浜名湖 ②魚が住める浜名湖 ③魚がゴミより多い浜名湖 海ごみにペットボトルが出る原因 目標を達成するための行動「環境行動(3R)」でまとめる。 ペットボトルからペットボトルを作ることにしたらどうか?といった、意見も出された。
-------	--

事業の課題	参加者の大半が小学生低学年であった。ゴミを拾う際にどのようなことに注意して拾うなどの説明がなかった。大きなゴミや目立つものに注目があり、マイクロプラスチックの説明や食物連鎖の説明が出来なかった。
-------	---

記録添付

